

臨床研究に関する公開情報

京都市立病院リハビリテーション科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画書・研究方法についての情報利用について知りたい場合、患者さん自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の患者さんの個人情報等はお答え出来ない内容もありますのでご了承ください。

1. 研究課題名

高齢急性白血病患者における低骨格筋量が寛解導入療法後の身体機能に与える影響について

2. 研究責任者

リハビリテーション科部長 多田 弘史

3. 研究担当者

リハビリテーション科 中西俊祐

4. 研究について

目的：高齢発症の急性白血病は予後不良とされ、低骨格筋量、骨格筋量減少は生命予後に影響すると報告されている。このような研究の多くは生存率・治療奏効率を主要な評価項目としているが、高齢急性白血病患者は若年急性白血病患者と比較し、化学療法による身体機能低下が活動、参加制限に直結するので、身体機能を主要な評価項目とした研究が必要である。

しかし、高齢急性白血病に対する化学療法後の身体機能変化を調査した研究は我々が渉猟し得た範囲では存在しないので、骨格筋量の違いが寛解導入療法後の高齢急性白血病患者の身体機能に与える影響を明らかにするために本研究を計画した。

対象：2019年4月1日 ～ 2022年3月31日の期間に白血病にて入院し、リハビリテーション処方があった症例

研究期間：2021年9月13日 ～ 2022年9月12日

取り扱う情報：

診療記録、リハビリテーション科記録、検査結果、写真等

個人情報取り扱い：

患者データは研究担当者が責任を持って匿名化し、個人情報保護に十分配慮して管理を行いません。診療情報は当院でのみ利用します。

5. 有害事象および患者負担

患者さんへの直接的な介入や侵襲はありませんので有害事象は起こりません。また費用負担もありません。

研究へのデータ提供による利益・不利益は特にありません。また、研究への参加・不参加による利益・不利益はありません。

6. 利益相反

開示すべき利益相反はありません。

今回集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、随時下記連絡先までご連絡ください。取りやめを希望した時点で、すでに研究成果が公表されていた場合は破棄出来ない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

本研究に関する質問・問い合わせ先

リハビリテーション科 中西俊祐（代表 075-311-5311）

研究機関情報

研究機関名：京都市立病院

研究責任者：リハビリテーション科部長 多田 弘史

研究担当者：リハビリテーション科 中西俊祐

電話 075-311-5311